

訓 示

平成 22 年度、年度当初に当たり、職員の皆さんに一言ごあいさついたします。

皆さんにおかれましては、市内の桜も見頃を迎え、全てが始まる季節の訪れを感じ、心新たに新年度を迎えたことと存じます。先ほど新年度のスタートに当たり、176 名の皆さんに辞令の交付を行いました。その内訳は、昇任昇格 64 名、配置換 76 名、交流派遣など 4 名、新規採用 12 名であります。

この度の人事異動の基本的な考えであります。子育て支援に対する体制の強化や女性職員をリーダーに登用するなど、施策や事業に即応した職員配置に心がけ、本人の希望や意見等を配慮しつつ、中堅以下の職員には、ジョブローテーション等による能力開発を念頭に置いた異動を、また、中堅以上の職員には、個性と能力を十分発揮できるよう、適材適所の異動を行ったところであります。また、人材育成の観点から、県との人事交流や後期高齢者医療広域連合などへ継続的に派遣するとともに、新たに峡北広域行政事務組合との人事交流を行うこととしたところであります。

ここでまず、新規採用職員の皆さんに大きな期待をもって申し上げます。皆さんは、今日から本市職員としての第一歩を踏み出され、これからいろいろな業務に携わるわけですが、いずれの業務も市民福祉の向上や市政発展のために欠くことのできない重要なものであります。先ほど皆さんが宣誓された言葉を、しっかり心に刻み、組織人・社会人、そして公務員としての自覚を持ち、蕪崎市の新しい力として、職場の先輩・上司とともに、全力で業務に取り組んでいただきたいと思います。

さて、景気の回復が足踏み状態にある中、地方自治体を取り巻く行財政環境も、依然、厳しい状況が続いております。また、こうした社会経済状況を反映して、公務員に対する市民の目も一段と厳しくなっております。このような状況の中で、職員に求められる意識や能力をさらにレベルアップすることが必要となるとともに、自己決定、自己責任の自覚をしっかりと持ち、説明責任を果たし、市民との相互信頼関係を構築しながら『信頼される公務員』を目指すことが大切であります。

職員の皆さんには、既に『蕪崎市人材育成方針』の中で、本市が目指すべき職員像についてお示ししていますが、再度、次の四点について肝に銘じていただきたいと思います。

まず、第一に市民の立場になって考え、市民とともにまちづくりに取り組む職員であります。市民の目線で課題を見つけ、市民と協働で課題解決を図ることが極めて重要であります。第二に、高いコスト意識を持ち、効果的で効率的な行政運営に努める職員であります。限られた経営資源を最大限活用し、より高い行政サービスを心がけていただきたいと思います。第三にチャレンジ精神を持ち、自ら考え、実行する職員であります。前例にとらわれず、粘り強い精神力と行動力で新たな課題に進んで挑戦してください。最後に、常に学習意欲を持ち、積極的に能力開発に努める職員であります。能力開発は、職員研修だけではなく、『自ら学びたいことを、自ら学ぶ』自学が基本であり、常に能力向上並びに自己成長意識を持ってください。どうか、皆さんには、地方分権から地域主権と呼ばれる諸情勢を十分認識いただき、常に市民目線に立って、創造性・柔軟性をもって積極的に仕事に取り組んでいただ

き、市民の期待に応え、信頼を築いていただきますようお願いいたします。

また、管理職の皆さんには、部下の育成は非常に責任ある役割であることを、この際、再認識していただき、仕事を通じて指導・育成するとともに学習する職場づくりに心を砕いていただきたいと思います。そのために、自らが模範となり率先して自己啓発に励み、コミュニケーションが良く取れる職場をつくるため、部下を良く知る努力を怠らないよう強くお願いする次第であります。

最後に、健康づくりについてお願いいたします。私も毎年人間ドックを受けておりますが、皆さんの中には定期検診などを受けない方もおられるようです。ご自身の健康であり、ご家族のためでもございます。もちろん職場のためにも是非、健康づくりに心がけていただきたいと思います。

結びに、職員の皆さんには、心をひとつにして『夢と希望の持てるまち』の実現に向け、各自の力を最大限に発揮していただきますよう切にご期待申し上げ、年度初めに当たりましての訓示といたします。